



### 新市内循環バスで高齢の低所得者にも減免措置を

足立志津子 議員

問 新循環バスは、交通権を保障する市の責務から、高齢で低所得の利用者にも障がい者同様に減

免措置を。  
答 実証運行結果をもとに、地域公共交通活性化協議会で検討する。

### 「国土強靱化地域計画」の策定に向けた取り組み

島田和泉 議員

問 平成25年12月に国土強靱化基本法が制定された。本市での計画策定の必要性と今後の計画は。

答 国の政策として力を入れており近年大規模災害が頻発していることから策定は必要。市政全般に関係するために先行自治体の事例を参照しながら慎重に検討したい。

### 地域コミュニティの活性化

問 自治組織が高齢化や

地縁のつながりの希薄化等で消滅しかねない。地域活性化が急務だが市の関わりは。

### 「域学連携」地域づくり活動の推進

答 自治組織相互の情報交換、情報収集を行っていき、市民活動支援や自治組織への加入PR活動を行い、地域活動活性化を図れる様に施策・事業の検討を進める。

### クラウドファウンディング

問 自治体主体による実施について、その後の検討状況と実現の可能性は。  
答 提案を受けたことを契機に調査



人と防災未来センター（神戸市）

### 新環境センターの完成までと運営

問 今年秋の完成となるふじみ野市・三芳町環境センターにおける焼却炉試運転のチェックポイントや、事業全体の管理業務委託先に対する市のモニタリングの在り方は。

答 試運転においては、専門的チェックを委託する。全体のモニタリングは、職員のスキルアップを図り、市としてチェックできるようにしたい。  
就学援助認定基準の引き上げは  
問 「義務教育は無償」

研究を進めている。効果や課題の整理を進めており、市民にとって有益であり、貢献できる制度構築に向け調査・研究をさらに進めたい。

### 空き家の有効活用を

小林憲人 議員

問 増え続ける空き家への対応は喫緊の課題。民間事業者と連携した空き家バンクの創設を。

答 空き家バンクは有効な手段であり、宅建業協会と協定を締結することで、高い効果が期待できる。今後、空き家バンクの創設とあわせて取り組んでいく。

### 課題解決力を育む学校教育を

問 持続可能な開発のための教育の優良実践事例

では、指導計画や体験的な学習を取り入れ、成果をあげている事例が多い。推進を。  
答 環境や平和、人権や福祉など、様々な課題に対して体験的な学習を取り入れながら、持続可能な将来を実現できる価値観と行動力の育成を目指し、推進していく。

### より効果的な固定資産台帳の整備を

問 多くの公共施設が更新時期を迎えつつある。

※キッズ・アントレプレナーシップ教育 子どもたちの起業家精神を養成するため、ものづくりの楽しさや先端科学などについて、学びの場をつくること。

### 一時保育事業の拡充で子育て支援を

伊藤初美 議員

問 保護者の急な疾病やリフレッシュを図るために一時保育事業の役割は大きい。公立保育所で受け入れ枠を増やせないか。

答 保育所は、定員以上に通常保育で児童を保育しているため、スペースが足りない。また、緊急時は空きがあれば当日でも対応する。

### 医療費一部負担金の減免制度の周知

問 医療費が高くて治療を中断してしまう人も多く、制度を知らない市民も多いので、周知に工夫を。  
答 市のホームページで知らせているが、保険証の更新時や納税通知書送付の際にも周知していく。

### 投票所の増設を

問 徒歩で投票所まで行くのが困難な地域もあるので、増設できないか。  
答 衆議院小選挙区見直しにあわせ、投票区全体の見直しを行っていく。



### 住宅リフォーム助成制度の創設

問 空き家対策として住宅リフォーム制度は活用できるのでは。  
答 市総合戦略の中で、空き家などを活用したシェアハウスや保育事業多世代交流事業などは計画している。

その際、有権者数だけでなく、徒歩でも行ける距離も要件に含み公民館などを有効活用するよう検討していく。

### 障害者差別解消法施行後の体制強化を

問 各障がいの特性に応じた条例の制定を。  
答 当事者団体や地域自立支援擁護部会の意



障がい者週間記念事業「ふれあい広場」

### 東武東上線の人身事故対策

塚越洋一 議員

問 東武東上線の人身事故率が全国一位では、市のイメージダウンになる。特にふじみ野市付近が多いのも問題。踏切の改善

やホームドアなど安全対策の徹底と、自殺防止対策も必要では。  
答 低コストのホーム柵も出てきたので、要望活動を続けている。今後も東武鉄道に対して人身事

### 三芳スマートICへの対応

問 三芳スマートICがフル化されると便利になるが、大型車の通行量が

増えるなど問題がある。大井中学校前などアクセス道路の整備と市全体の交通体系への位置付けは。  
答 今年度は、都市交通体系マスタープランに位置付け策定。大井中学校前は拡幅について三芳町と協議していく。

### 地域文庫の育成強めて

問 地域の子育ての輪を広げるためにも政策の太い柱として位置付けるべき。学校・保育所・公民館・保健センターなどの連携を強めて、育成強化を図っては。  
答 小中学校を含む市内公共施設等の活用や運営など研究していきたい。

※持続可能な開発のための教育 環境・貧困・人権・平和など、様々な地球規模の課題を自らの問題として捉え、課題解決につながる価値観や行動、持続可能な社会を創造することを旨とする学習や活動。